

高温でも容易に着色する極大粒の 黒色ブドウ品種「グロースクローネ」

温室効果ガス

農薬

肥料

有機農業

その他
(労働生産性)

生産 品目：ブドウ

技術の概要

わが国で栽培されている大粒ブドウは「巨峰」や「ピオーネ」など、果皮が紫黒色の品種が中心であるが、地球温暖化による果実成熟期の高温の影響により、着色不良が多発している。着色不良果は商品性が著しく低下するため、生産現場では深刻な問題になっている。そこで、「巨峰」や「ピオーネ」よりも着色が優れる極大粒品種を育成した。

本品種の収穫期は「巨峰」や「ピオーネ」と同時期であり、果皮のはく皮、果肉特性、果肉硬度も同程度である。

香気は「フォクシー」、日持ちは「巨峰」、「ピオーネ」並み。ジベレリン2回処理で種なし栽培が可能。省力的な短梢剪定による栽培が可能である。

西日本における「グロースクローネ」「巨峰」「ピオーネ」の着色(カラーチャート値)

品種名	カラーチャート値
グロースクローネ	9.0
巨峰	7.9
ピオーネ	6.9

カラーチャート値は中部地方以西の13場所の平均値

効果

◎「巨峰」「ピオーネ」よりも安定した良着色果

収量を「巨峰」並みとし、450g～500gの房作りを行うと、「巨峰」や「ピオーネ」よりも安定して良着色果が得られる。

◎極大粒で良食味

ジベレリン処理果の果粒重は20g程度となり、「巨峰」や「ピオーネ」より大きい。糖度は19.0%と「巨峰」や「ピオーネ」と同程度に高く、酸含量は0.4g/100mlで「巨峰」より低く良食味である。



「グロースクローネ」の結実状況

導入の留意点

・若木では花振り性が強く、年により裂果が発生

樹齢が進むと花振いは軽減される。裂果を防ぐため、成熟期後半の水管理に留意し、極端な乾湿の変動を避ける。

その他(価格帯、研究開発・改良、普及の状況)

●価格帯 苗木1本あたり2,000円～3,000円

●改良・普及の状況

・2019年～2022年で苗木8,687本販売

●適応地域

・「巨峰」や「ピオーネ」の着色不良が生じやすい西南暖地

関連情報

農研機構品種サイト：
「グロースクローネ」(平成29年)

